

## 1 題材名 クラスのパズルを完成させよう ～目ざせ絆の100ピース～

## 2 題材の目標

- ・ 絆を深めるための方法をすすんで発表し、学級会で決まったことに対して意欲的に取り組もうとする。  
(集団活動や生活への関心・意欲・態度)
- ・ どうすれば絆が深まるのかを考え、学級の中で自分にできることを見つけ実践することができる。  
(集団や社会の一員としての思考・判断・実践)
- ・ 絆を深めるために、協力する方法や一人一人が責任をもって取り組むための方法について理解することができる。  
(集団活動や生活についての知識・理解)

## 3 題材構想(13時間完了 本時 12/13)

## (1) 題材構想

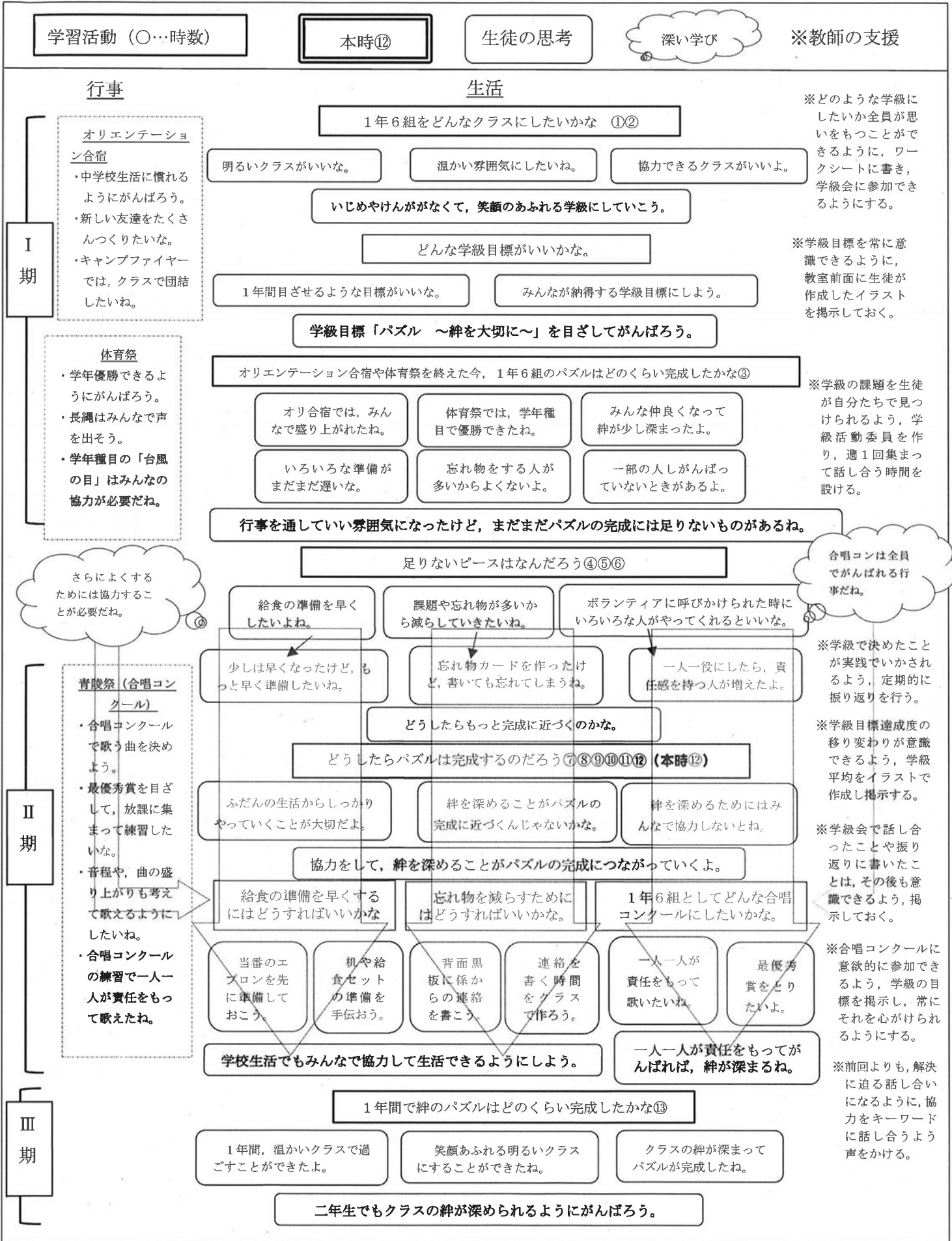
本学級は、中学校に入学して気持ちを新たに学校生活がんばろうとする生徒が多い。帰りの会の1分間スピーチでは、「中学校でがんばりたいこと」をテーマに、「勉強と部活をがんばりたい。」と多くの生徒が前向きに話をしていった。学級目標を決める際の話し合いでは、「いじめやけんかがなく、笑顔があふれるクラス」をつくりたいという生徒たちの願いから「パズル～絆を大切に～」という学級目標に決まった。4月のオリエンテーション合宿では、野外炊飯やキャンプファイヤーなどの活動で、友達と協力する姿が見られた。5月の体育祭では、長縄や学年種目の練習で「もっと○○しようよ。」など、周りに声をかけ合う姿が見られ、学年優勝を目ざして真剣に取り組んでいた。行事では、力を合わせ協力することができるので、日常でも自分たちの学校生活をよりよくするために一人一人が自分のできることを考えて自主的に動くことができるようになってほしいと考えている。

本題材は、学級目標の達成に向かって1年間取り組んでいこうという大きなテーマを含んでいる。さまざまな考えの生徒がいる中で共通の目標に向かって努力することで、仲間とともに活動することの苦労や喜び、楽しさや成就感を味わうことができるだろう。また、自分たちの努力が、学級の仲間に認められたり、役に立っていると感じられたりする経験を重ねることで、自らすすんでクラスの問題に気づいて解決しようとする集団になると考えている。そこで、学級目標達成度を月に一度振り返り、学級の解決すべき問題点を見つけ、学級会の議題とする。そして、みんなが意見を出し合って決まったことを実践する。このように、「課題を見つける」「話し合う」「実践する」「振り返る」という活動を繰り返していくことで、生徒たちは目ざす学級を自分たちでつくり上げていると実感することができるだろう。

I期で、行事で協力することを学んだ生徒たちに、II期の初めに「どうすればパズルは完成するのか」と問いかけ、絆を深めること、協力することがパズルの完成に近づくことを学級全体で確認していく。そうすることで、学級目標を達成する方法を明確にすることができる。また、学級目標達成度の学級平均を掲示することで、自分たちの活動の努力の成果を実感できるようにする。その後、合唱コンクールに向けて、「1年6組としてどのような合唱にしたいか。」という議題で話し合い、具体的な練習方法を決めていく。生徒たちは練習を繰り返していくなかで、協力することが絆を深めることにつながると実感していくと考えられる。そのような時期に、これまでの学校生活を振り返る機会を設ける。生徒たちは合唱コンクールの練習で協力することができているが、日常生活ではあまりできていないことに気づくだろう。そこで、日常生活の中でも協力していくための方法を具体的に話し合う。そうすることで、自分がすべきことが明確になり、自主的に動けるようになると思われる。

III期では、行事だけでなく、日常の学校生活で協力できるようになった生徒たちに1年間を振り返る活動として、「パズルはどのくらい完成したか」を確認する。これまでの学級の取り組みを振り返り、互いのがんばりを認め合う場を設ける。そうすることで、自分の行動が学級のためになっていたことに気づき、協力することの充実感や楽しさを味わえるようになっていくだろう。本題材を通して、生徒たちが積極的に学校生活に取り組み、学級の一部の生徒だけではなく、全員がみんなのために動けるような学級を目ざしていきたい。学級会やその後の実践を通して、「パズル～絆を大切に～」という学級目標に向かって一人一人がみんなのためにどうすればよいのかを考え、行動できる集団になってほしいと考えている。

(2) 題材構想図



#### 4 本時の授業

##### (1) 目標

忘れ物をなくすための方法に対する話し合いを通して、今の学級のために必要なことを考えることができる。  
(集団や社会の一員としての思考・判断・実践)

##### (2) 構 想

これまでに生徒たちは、体育祭を通して協力することの大切さを感じ、日常の学校生活でも協力することが学級目標を達成することにつながっていくと学んだ。また、学級目標にある「パズル」や「絆」について考えたりすることで、協力することが、絆を深めることにつながることを実感している。そのような生徒たちに、さらに日常の学校生活の様子に目を向けさせ「学級をよりよくするために協力できることはどんなことか」について考えさせていきたい。

本時では、「忘れ物をなくすために協力できること」について考えさせていく。行事で協力することの大切さを学んだ生徒たちに、さらに日常の学校生活で協力してがんばれることはないか、と問いかけることで生徒たちの問題意識から本議題に迫っていく。忘れ物については、6月の学級会で「今の6組に必要なこと」というテーマで話し合った際、「忘れ物が多い」という意見が多く、どうすれば少なくなるかと解決策を考えた。その時には、「忘れ物カードを作る」という方法に決まり、話し合い直後は意識して生活している生徒も多かったが、継続することが難しかった。この話し合いのときには、自分のことではなく「忘れ物が多い子をどうにかしよう」という意識が強かったので、今回、再度話し合うことで「クラスみんなで解決すべき問題」として意識することができるようになるだろうと考えている。

前時の段階で、忘れ物についての意識調査を行い、問題意識をもたせた上で話し合いを行っていく。意識調査については、個人ではなくクラス全体について考えられるよう「6組は忘れ物が多いかどうか」についてアンケートをとる。そして前時では、クラス全体の忘れ物について問題意識をもった生徒たちに「忘れ物が多いのはどうしてだろう」と原因について考えさせていく。

「連絡を毎日書いていないから」「家で確認していないから」という意見が出てくるだろう。さらに、「どうすれば忘れ物がなくなるだろう」と問いかけ、具体的な方法を提案させる。そこでは、家で取り組むことや学校で取り組むこと、自分が取り組むべきことについてとさまざまな取り組み方についての意見が出てくると思われるが、本時では、「係やみんなでできること」に焦点を当てて話し合う。具体的な取り組みとして、連絡を書く時間や、背面黒板の使い方について意見が出てくると予想される。そこで、実際にそれらの意見を整理し、具体化したりよりよい方法にしたりするための話し合いをする。クラス全体で本議題を解決していく方法を考えることで、日常生活でもクラスのために自分にできることを考え協力して生活できる集団になってほしい。

(3) 学習過程

時間	○学習活動	主発問	生徒の思考	深い学び	はたらきかけ	評価
3	<p>○司会から、今日の議題、めあてについて確認をする。</p> <p>○提案に対する自分の意見を発表する。</p>	<p><b>提案</b></p> <p>「前回、忘れ物が多い原因と解決方法について考えました。今日は、係やみんなのできることに意見を絞って、忘れ物をなくすためにクラスで協力してできることを考えていきましょう。」</p>	<p>提出の日が近づいてきたらみんなですべて声をかけ合おう。</p> <p>課題の提出をぎりぎりに言うのではなく、3日前くらいにみんなに伝えよう。</p> <p>連絡黒板に書くだけでなく、帰りの会で係から連絡ができるようにしましょう。</p> <p>連絡が書けているか帰りの会で確認しよう。</p> <p>背面黒板を活用して、課題を常に意識できるようにしよう。</p> <p>連絡黒板は昼までに書いて連絡を昼休みに書けるようにしましょう。</p>	<p>できることはたくさんあるけど、しっかりできるのかなあ。</p>	<p>※出された意見を比較できるように、板書を分類して書くようにする。</p> <p>※相手の意見を尊重した話し合いができるように、問題点ばかりを指摘する生徒に対して意見の真意を聞き取り、それを生かす方法はないかみんなで考えられるよう助言する。</p>	
10	<p>○解決策を話し合う。</p>	<p>司会「出された意見をもとに、くっつけたり選んだりしてよりよい方法を考えましょう。」</p>	<p><b>係：背面黒板を活用する</b></p> <p>背面黒板に書いても見てない人がいるから効果が少ないかも。</p> <p>みんなが意識できるように帰りの会で係から連絡するようにしよう。</p> <p>大事な連絡のときは、わかりやすいように色を変えるなど工夫して書こう。</p>	<p><b>みんな：生活日記に確実に書く</b></p> <p>昼休みに連絡を書くのは、移動教室のときがあるから毎日難しいよ。</p> <p>移動教室がある日は仕方がないから、帰りの会までに書こう。</p> <p>みんなが確実に書けるように帰りの会の中で書く時間をつくろう。</p>	<p>話し合いの焦点化</p> <p>※出てきた意見を生かす方法を考えたり、優先順位をつけて上位の考えに決めたりするように、司会に声をかける。</p> <p>※実践への意欲が高まるように、決定したことへの意気込みを発表する時間を設ける。</p>	
40	<p>○決まったことを確認する。</p>	<p>司会「これから取り組んでいく方法を確認しましょう。」</p>	<p>クラスで決めたことだから、みんなで協力してやっぺいこう。</p>	<p>忘れ物をなくして、もっとはじめのあるクラスにしていきたいな。</p> <p>忘れ物がなくなるように、みんなで声をかけていこう。</p> <p>話し合ったことをみんなですべて協力して、忘れ物ゼロのクラスにしていこう。</p>	<p>忘れ物をなくすための話し合いを通して、クラスのためにどのようなことができるのかを考えることができる。 (ワークシート、発言)</p>	